



結婚30年目の奥様から聞きました

# 愛するお嫁さんが一番じゃないと結婚できない

私の身边に、とてもすてきなご夫婦がいらっしゃいました。円満な夫婦生活の秘けつと、結婚したいかたへの伝えたいことを伺ってみました。

※匿名で登場いただきました。ご了承ください。

結婚して、30年近くになります。主人とは一回り歳が違いますが、結婚って、まるで宝くじみたいなものだなと感じます。

仕事の都合で、結婚してすぐに大館に来たから、言葉も分かりませんでした。以来、大館の人たちには良くしてもらって、血縁はないんですが、大館に居着いてしまいました。

## 我慢強い夫に感謝しています

30年も夫婦でいられたのは、うちの人が我慢してくれているからですね(キッパリ)。男は我慢だね、偉いなあと思いますよ。だから、「ありがとう」と「ごめんなさい」を声に出して言うようにしています。

## 一番大事なのは家族です

寂しがりやの私に幸せを与えてくれる家族は、私の宝物です。

先日、孫が生まれて、お嫁さん

の実家でお祝いをしたんです。私が育てた息子がお嫁さんをもらつて、孫が生まれた。私の子育てが大成功だったということでもありますから、ものすごく幸せを感じました。

## 俺の嫁さんを大事にしてくれよ

結婚式のときに息子に言われました。「俺の嫁さんを大事にしてくれないと、お母さんたちのことも大事にしないぞ」って。他人にこんなことを言われたら腹が立つけれど、息子に言われても平気なもんです。

血のつながりはものすごく強いけど、夫婦のつながりは弱いものです。もし同居していたら、常に奥さんの味方をしてあげなきゃあ。夫が大事にしてくれているかどうか、奥さんは敏感に感じているはずです。

市内在住のHさん



## 一番は、「愛するお嫁さん」

私は、独身の男の子から結婚の相談を受けるとこう聞くんです。結婚したい彼女が2人で暮らしたいって言ったら、「お母さん、1人で暮らしてくれ」って言えるかい。言えるようじゃないと、結婚しても幸せになれないと思うんです。

## 親の愛は無償です

あなたを一番愛しているのは、間違いない母親です。でもあなたが一番愛しているのは奥さん、恋人です。いつの時代でも同じ、親の愛は無償のものです。だから、親を捨てたなんて思う必要はないし、絶対に縁なんか切れない。

女性は、お嫁に来るときには親と離れるんだから、男性にも「親を捨ててもこの人と家族になる」という気持ちが必要だと思うんです。

## デリケートなテーマで、難しい取材でした

結婚は、個人のプライバシーにも深く関係するデリケートな問題なので、取材はなかなか難しいものでした。本当は、男性や結婚前のカップルなど、たくさんのかたのお話を紙面に登場させたかったのですが、思うようにいきませんでした。バランスを欠いた部分もあるとは思いますが、ご了承ください。

## 私自身の驚き

取材を終えて、私は意外な感想を抱きました。一番身近にいる母の話さえ新鮮なものでした。男性の方が真面目に「結婚して家庭を築きたい」と考えて相談されるというは、驚きです。男性は、容姿を第一に考えていて女性を選んでいるというのが私の認識だったからです。もしかすれば、私のコンプレックスが、そう感じさせているのかもしれません。

また、結婚は当人同士だけの問題ではないことも実感しました。両家の家族や、地域社会の構造もまた結婚することに大きく影響を与える。親の世代や、社会が結婚する人たちを後押ししてあげられるなら、もつと結婚するカップルは増えるのではないかと思います。

## 親の愛と夫婦の愛

Hさんのお話に、夫婦であつても言葉にして話すことの大切さを実感し、納得しました。「親しき中にも礼儀あり」を座右の銘として進めば、夫婦関係もうまくいくんですね。

また、結婚して独立した息子さんにに対する深い愛情も感じられました。夫婦間とは違つて、相手から何も返つて来なくても注ぎ込めるのが親の愛情というものなのでしょうか。

## 最後に

望む人がみんな結婚出来て、幸せに暮らすことはとても難しいことでしょう。結婚したい人を少しでも社会全体で応援することが出来たらいいですね。私自身振り返つてみると、自分の価値観の殻を破らないと、相手のこと、自身の至らない問題点が見えて来ないんだなあと感じました。今よりも少しでも魅力ある人間になるように努力したいと思います。そうすることで結婚への可能性が開けて来るのかもしれません。

